

平成 28 年度

担当課 商工観光課

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	地域資源を活かした観光の振興
具体的施策	①地域資源を活用した新たな観光魅力の創出

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	① 目標事項： 宿泊者数（延べ） K P I： 2,697千人（5%増加）							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	2,569千人	2,627千人	2,655千人				
		② 目標事項： リゾートウェディング挙式数 K P I： 約3,900組（5%増加）							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	3,724組	3,833組	4,029組				
		③ 目標事項： おんなの駅来客者数 K P I： 約99,000人（5%増加）							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	945,521人	1,070,424	1,182,074				
		④ 目標事項： フォトコンテスト応募者数 K P I： 78点（10%増加）							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	71点	60	257				
		⑤ 目標事項： 恩納村産業まつり来場者数 K P I： 2,505人（10%増加）							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	2,278人	3,413人	5,465人				
		取組内容	事業名	取 組 内 容					
			地域資源を活用した観光振興事業	恩納村観光協会によるサンシャイン恩納村観光物産展、恩納村美ら海花火大会、フォトコンテスト（H27・商工会、H28・観光協会）					
			地域資源を活用した新たな観光メニューの開発	漁船と三線演奏を組み合わせたサンセットクルージング（恩納村観光協会）					
			リゾートウェディングの推進	役場内フォトスポットの設置（H27）。三線合奏等を通して、新郎・新婦両家の絆を深める恩納村ならではの愛々（かながな）ウェディング（恩納村観光協会・H28）					
			集落内の歴史資源等を活用した散策マップ等の整備	金武・宜野座・恩納村の3町村連携で整備したノルディックウォーキングコース（ふれあい体験学習センターをスタート・ゴールとし、国道58号を通り万座毛、そして、万座毛周辺の文化財を巡る。H27）					
地域ガイドの育成	恩納村文化財案内人・道の会、恩納村エコツーリズム研究会								

平成 28 年度	評価 (C)	【 28 年度評価】
		担当課 評価  A
	改善 (A)	【 29 年度における取り組みなど】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リゾートウェディングの推進として、フォトウェディングに係る海岸撮影申請代行業務を行う。</li> <li>・新たな散策コースの整備、マップ等の作成や観光メニューを開発し、観光客の満足度向上を図る。</li> <li>・パンフレットやホームページ、フェイスブックを通して、取組内容の周知・PR活動を強化していく。</li> </ul>
	委員会 意見	【 評価等に対する意見】
		委員会 評価  A1

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	商工観光課
----------	-----	-------

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	地域資源を活かした観光の振興
具体的施策	②観光推進体制の確立

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：－ K P I：－								
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考		
		数値									
		②	目標事項：－ K P I：－								
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考			
	数値										
	取組内容	事業名	取 組 内 容								
		県外・国外誘客プロモーション事業	効果的なPRの推進とプロモーションの拡充								
		旅の案内人配置事業・パンフレット作成	情報提供機能の強化								
		観光協会設立準備室の設置・設立	観光協会の設立								
YONNA会議		北部地域や近隣市町村と連携した取り組みの推進									
第三次観光振興計画策定事業		第三次観光振興計画の策定									
評価(C)	【28年度評価】										
	担当課評価 A	県外・国外誘客プロモーション事業は、東京・韓国で効果的なPRとプロモーションを行うことができた。旅の案内人配置事業は、来場者数H27・8,697人、H28・8,958人と増加傾向であり、来場者からも「親切・丁寧な案内」と高評価である。パンフレット作成はH28作成予定が執行できず、H29に執行した。観光協会についてはH28.4月設立済みである。YONNA会議は、名護市・読谷村・恩納村の行政・ウェディング関係機関の会議で、2、3カ月に1回開催し、情報共有を図っている。第三次観光振興計画はH29.3月に策定された。									
平成28年度 改善(A)	【29年度における取り組みなど】										
		県外・国外誘客プロモーション事業は継続して行い、本村の知名度向上を図る。旅の案内人配置事業はHPや看板等で観光情報フロアの周知を徹底し、利用者増加を促進する。観光協会については、連携を密にするとともに監査等を実施し、指導・機能強化を行う。第3次観光振興計画はH29年間スケジュールに沿って事業を進行する。									
	【評価等に対する意見】										
委員会意見	委員会評価 A2	目標設定数値はないが、体制の確立という面から、観光協会が設立されスタートラインに立った。具体的な取り組み案を着実に進めてほしい。									

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 農林水産課

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	稼げる農水産業の振興による地域経済の活性化
具体的施策	①活力と魅力ある農業の展開

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 耕地面積 K P I : 367ha(1%増加)							
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	364ha	362	362					
		②	目標事項： K P I :							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考		
		数値								
	取組内容	事業名	取 組 内 容							
		耕作放棄地再生利用緊急対策事業	耕作放棄された荒廃農地を所有者以外の農家が使用貸借して荒廃農地を再生させて耕作する。							
		青年等就農給付金	45歳未満の青年就農者の就農直後（5年以内）の農業経営確立を支援する資金を交付する。							
		シンカプロジェクト	長野県川上村との農業技術交流によって本格的なレタス栽培の取り組みが始まり、契約農家がレタス栽培を行い、おんなの駅なかゆくい市場において、恩納村産レタスとして販路拡大、地産地消を進めている。							
平成28年度	評価(C)	【28年度評価】								
		担当課評価	耕地面積は、農家の高齢化や担い手不足等による減少である。新規就農者に対する支援については、各出荷団体等と情報交換を行い、給付者は増加しており、沖縄県と連携して農業経営に対する指導、支援ができています。シンカプロジェクトについては、契約農家の栽培技術の確立がなされておらず、安定的な供給ができていない。							
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】 耕地面積の減少を軽減させるよう農業委員会農地利用最適化推進委員を活用しながら遊休農地所有者から他の農家への移行を図る。 新規就農者の支援は、今後も各出荷団体等と情報交換を図り、新規就農者への支援を行っていく。 シンカプロジェクトは、需要に合わせて計画生産できるように栽培スケジュール管理を行い、契約農家の栽培技術向上を図っていきたい。								
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価	耕作放棄地に対する事業はB評価、新規就農者に対する事業は増加しているためA評価、シンカプロジェクト事業は進んでいるためAとBの間の評価と、各事業に対する評価が出ている。耕地面積の増加よりも耕作放棄地や農家数に課題を設定した方がよいと思われる。K P Iの見直しも必要である。								

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 農林水産課

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	稼げる農水産業の振興による地域経済の活性化
具体的施策	②美しい農村環境の整備・保全

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： - K P I： -										
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考				
		数値											
		②	目標事項： - K P I： -										
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考				
		数値											
	取組内容	事業名	取 組 内 容										
		多面的機能支払交付金事業	恩納村農地・水・環境保全管理協定運営委員会において、村内土地改良地区内の排水施設や沈砂地等の草刈り作業や土砂上げ作業の維持管理を行う。										
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】										
担当課評価			土地改良地区の沈砂地の草刈り作業や土砂上げ作業で機能回復で赤土流出防止と災害箇所からの赤土流出を極力押さえる為に迅速に対応してきた。										
		B											
改善(A)		【29年度における取り組みなど】											
	恩納村赤土等流出防止対策地域協議会を立ち上げ、畑の赤土流出対策としてグリーンベルトの設置や裸地に緑肥種の播種等で対策を図る。												
委員会意見	【評価等に対する意見】												
	委員会評価	多面的機能支払交付金事業において、農地周辺の環境整備が実施されており改善されている。事業への延べ参加人数や面積など、村民に事業効果をPRするとよい。サンゴの村宣言とも関係してくるので、啓発活動にもつながる事業である。											
		A2											

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 農林水産課

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	稼げる農水産業の振興による地域経済の活性化
具体的施策	③誇りと魅力がある漁業の振興

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	① 目標事項：栽培漁業の生産量 K P I：もずく1,200t							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	1320t	489t	437t	677t			
		② 目標事項：サンゴ養殖本数 K P I：30,000本							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	16,000本	19,000本	24,000本	26,700本			
		③ 目標事項：水産物加工品出荷額 K P I：もずく290,000千円・アーサ56,000千円・海ぶどう230,000千円							
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	231,900千円 52,730千円 164,000千円	250,757千円 58,944千円 167,741千円	202,403千円 46,203千円 143,431千円	242,015千円 34,631千円 137,463千円			
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
多面的機能発揮対策事業		オニヒトデ除去等							
サンゴ礁再生事業		サンゴ植え付け等							
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】 担当課評価 C 平成28年1月に沖縄本島で初記録となる降雪が観察され、又、夏には世界的な高水温で恩納村海域もその影響を受けサンゴ白化に大きなダメージあり、水産業全体においても、前年値を下回り厳しい結果となった。							
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 もずくについては、食害対策として漁獲の推奨と駆除グループの育成を行い、アーサは安定生産を図るための冷凍網試験の実施し、海ぶどうはミスト装置を増やし猛暑対策を行いそれぞれの生産量の増加を図る等の対策を行っています。又、サンゴ養殖については引き続き有性生殖による種苗生産をし植付も行っています							
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価 C1 基準となるH26年度の現況値が過去最高の数値だったということ、自然環境などの外部の影響が大きいことから、結果に大きな下落が見られる。自然の影響は大きいですが、取組内容としては計画どおりでよい。							

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	商工観光課
----------	-----	-------

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	中小企業・小規模企業等の振興による地域経済の活性化
具体的施策	①中小企業・小規模企業の育成及び支援

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 創業支援事業計画に基づく支援者数 K P I： 12人						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	15	16				
		②	目標事項： 創業支援事業計画に基づく創業者数 K P I： 4人						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	5	3				
		③	目標事項： 村内の従業者数 K P I： 6,200人						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	7,382	7,382	6,184				
	取組内容	事業名		取 組 内 容					
		創業相談、事業計画作成支援事業		創業5年未満の創業相談、事業計画作成支援を商工会と、連携し行っている。					
		商業振興事業		講習会開催等、小規模企業持続化補助金事業、経営革新補助金事業を行っている。					
評価 (C)	【 28 年度評価】								
	担当課評価	恩納村商工会と連携し、村内の小規模事業者、小企業者を対象に、経営の安定化や売り上げ向上、各種支援を行い、創業に向けた支援に取り組むことができた。							
平成 28 年度 改善 (A)	【 29 年度における取り組みなど】								
	①創業支援事業計画による専門家の配置と、創業支援セミナーの開催の取組 ②恩納村中小企業・小規模企業・小企業振興基本条例策定の取組								
委員会意見	【 評価等に対する意見】								
	委員会評価	主たる事業は商工会が行っており、担当課における展開があまり見えないため、目標事項の見直しが必要と考える。 また、①②のKPIは累計に修正した方が評価しやすい。開業者数を目標値にすることは可能か検討していただきたい。							

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- －： 目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 商工観光課

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	中小企業・小規模企業等の振興による地域経済の活性化
具体的施策	②地域資源を活用した地産品開発と販路拡大

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：商品化された特産品 K P I：1品						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	0	0				
		②	目標事項：村内リゾートホテルでの特産品の開催（延べ数） K P I：4回						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	1	1				
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		「地域ビジネス力強化支援事業」恩納村特産品レシピ開発評価&試食会	村内リゾートホテルで商品化に向け、農産物を活用した「レシピ開発評価&試食会」を開催した。						
		オリジナルカクテルコンペティション	村内リゾートホテルにおいて、共有できる商品化に向け「カクテルコンペティション」を開催した						
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
担当課評価			恩納村のブランドイメージを高め、新たな地域資源の活用がなされた。						
B									
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】							
		ふるさと納税返礼品の中から「恩納村お宝認定制度」の取組を行った。恩納村中小企業者・小規模企業者・小企業者振興基本条例制定と行動計画作成に取り組んでいる。							
	委員会意見	【評価等に対する意見】							
		委員会評価	1つの施策で「商品開発」と「販路拡大」を評価しているが、「販路拡大」については県物産展での商談会や特産品コンテストでの受賞などを鑑みるとA評価である。「商品開発」についても、毎年新商品を生み出すのか、商品化したものを販売し、その伸び率を見るのか等、評価方法を工夫していただきたい。また、関係する機関にもヒアリングを実施したうえで評価すること。						
	B								

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない



平成 28 年度

担当課 商工観光課

基本目標	恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する
基本方針	中小企業・小規模企業等の振興による地域経済の活性化
具体的施策	③地域特性を活かした企業誘致の推進

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 企業誘致数 K P I： 1事業所						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	0	0				
		②	目標事項： K P I：						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値							
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		地域特性を活かした企業誘致の推進	取り組み内容としてまだ検討されていない。						
		中学統合後の施設の活用方法の検討	取り組み内容としてまだ検討されていない。						
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
担当課評価			具体的な企業誘致の検討はなされていない。						
B									
改善(A)	【29年度における取り組みなど】								
	企業誘致の受け入れのため、地域未来投資促進法基本計画の策定に取り組む。								
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	どのような種類の事業所を誘致するのかが分からない。目標が漠然としているため評価ができない。							
—									

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 企画課

基本目標	恩納村へのひとの流れをつくる
基本方針	定住・移住の促進
具体的施策	①宅地化に向けた支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：生産年齢人口 K P I：7,000人						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値		6,980人	7,016人	6,915人			
		②	目標事項： K P I：						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値							
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		恩納村 PPP・PFI勉強会	H28.6月、H29.2月に職員・議員・地元建設業者・不動産・金融機関・自治区を対象に、PPP/PFIに理解を求めるための勉強会を開催。						
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
担当課評価			職員及び関係機関に対し、PPP/PFIの内容及び取り組みの必要性を周知できた。						
		B							
改善(A)		【29年度における取り組みなど】							
		国土交通省の事業（地域プラットフォーム形成支援）を受け、PPP/PFI事業の今後の取り組み内容について、取り掛かる。							
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	C1 KPIについては横ばいであるが、施策としてはまだまだ改善の必要があるためC1とした。行政としての施策によって増加する数値なのか、関係性が弱いと思われる。							

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 建設課

基本目標	恩納村へのひとの流れをつくる
基本方針	定住・移住の促進
具体的施策	②若者層の定住に向けた支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：村営住宅等の供給戸数 K P I：98戸						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	90戸	90戸	90戸				
		②	目標事項：村営住宅等への子育て世帯の入居数 K P I：8世帯						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0世帯	0世帯	2世帯				
	取組内容	事業名		取 組 内 容					
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
担当課評価			平成28年度は2世帯の子育て世帯が入居しているが、村営住宅補充入居者募集委員会において、子育て世帯を優先の入居者としていたため、2世帯が入居することが出来た。						
		A							
改善(A)		【29年度における取り組みなど】							
	平成29年度も村営住宅補充入居者募集委員会において、子育て世帯を優先の入居者とした取組を行っていくが、母子父子家庭等の困窮者の方も考え、優先入居者順位を段階的に設定していきたい。								
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	戸数が増えておらず、特別な施策(措置)が取られたかが見えないため、B評価とした。取組内容を充実するよう求める。							
		B							

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている(前進)
- B：現況値と比較して変わらない(横ばい)
- C：現況値と比較して悪くなっている(後退)
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等(その他)

【委員会評価】

- A1：目標達成済み(更なる向上を)
- A2：現状維持(計画どおり)
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 福祉健康課

基本目標	恩納村へのひとの流れをつくる
基本方針	定住・移住の促進
具体的施策	③定住環境の充実

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： - K P I： -							
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値								
		②	目標事項： - K P I： -							
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値								
	取組内容	事業名	取 組 内 容							
		村診療所における診療科目の充実	恩納村診療所の運営管理の適正かつ円滑化を図るために、副村長・総務課長・学校教育課長・福祉健康課長・恩納村社会福祉協議会事務局長を委員として、年1回の恩納村診療所管理運営委員会を開催し、恩納クリニック院長と情報交換及び改善等について検討する。							
	平成 28 年度	評価 (C)	【 28 年度評価】							
			担当課評価	【現在診療科目：内科・循環器科・胃腸科・呼吸器科・小児科】委員会の中で、クリニックの患者状況及び収入実績、設備投資（電子カルテ導入等）、検討事項を話し合い、次年度予算計上につなげた。（指定管理協定書で、リハビリ機器等については、村民の利用状況を勘案し、必要性の可否について審議し、必要と認められた場合は、村負担とする）						
A										
改善 (A)	【 29 年度における取り組みなど】									
	耐用年数超過のリハビリ機器（带状疱疹等治療）について、村予算で新規の機器のリース契約（5ヶ年）した。									
委員会意見	【 評価等に対する意見】									
	委員会評価	重要な施策であるが、診療所のみでの評価となっているためB評価とした。定住環境の充実となると、病院、スーパー、給油所などの誘致が要望されており、複数課にまたがる施策が必要である。H30年度には企画課に定住促進係が新設されるため、今後の進捗に期待したい。								
B										

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 社会教育課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	結婚・妊娠の希望をかなえる支援
具体的施策	①結婚につなげる活動への支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 合計特殊出生率 K P I : 2.10%	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値	1.46 (H25) 1.49% 1.69%	
		②	目標事項： K P I :	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値		
	取組内容	事業名	取 組 内 容	
		恩納村青年団協議会への補助金交付	恩青協へ補助金を交付することにより、会員相互の親睦を図り、研修会及び交流会活動を通じ次世代を担う人材を育成し、伝統芸能や文化の継承、ボランティア活動等により地域の活性化を図り、活発で明るい村づくりに寄与すること。	
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】	
			担当課評価	各字青年会との各種イベントや意見交換、成人式実行委員会への支援等を行っている。今後も、恩納村を担う人材育成を図るうえで青年団協議会の実施事業等を支援し、各字青年会と連携を密に図る役割を期待する。
改善(A)		【29年度における取り組みなど】 恩納村を担う人材育成を図るうえで青年団の積極的な活動が必要である。社会教育担当課として情報交換等を密にし、引き続き、青年団の活発な活動の支援に取り組む。		
委員会意見	【評価等に対する意見】			
	委員会評価	C1 青年団協議会への支援が結婚につながる支援となっているか不透明である。お見合いパーティーなどの直接的な支援も含めて、積極的な施策が必要である。合計特殊出生率の上昇という本計画の最も重要な部分であることを認識し、村全体で取り組む必要がある。		

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 福祉健康課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	結婚・妊娠の希望をかなえる支援
具体的施策	②妊娠を希望する方への支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	① 目標事項：－ KPI：－	現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値							
	事業名	取組内容							
	①不妊治療への支援	福祉健康課窓口及び村民課近くに、沖縄県が実施する『沖縄特定治療費助成（体外受精及び顕微授精限定）』や、不妊専門相談センターに関するポスター、関連するパンフレット等を掲示・設置した。							
	②マタニティボックスの支給	妊婦に対する出産準備品（おむつ・よだれかけベビー服等）を専用のBOXに入れて支給する、フィンランド発祥の福祉政策。妊婦への支給は、流産等の懸念もあるため、代案として恩納村で出生した児への『誕生祝品』の支給を検討し、H29年度実施に向けて、文化情報センター職員と連携して準備を進めた。							
評価(C)	担当課評価	【28年度評価】 ①福祉健康課窓口以外にも、村民課やロビー近くにもポスターやパンフ等を置くことで、多くの来庁者の目に留まるようにした。 ②『もらってうれしい！』誕生祝品にするために、課内の子育て中職員の意見を聞いたり、村オリジナルバックのデザインや絵本の選択を文化情報センター職員と一緒に考え、さらに、子育てのストレスを少しでも軽減できるように、文化情報センターをリフレッシュの場として活用できるように、利用促進に向けた取り組みを検討した。							
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】 ①前年度の取り組みを継続するとともに、公民館等にもパンフやポスター等を配布を検討。 ②誕生祝品（一人5,000円相当：オリジナルバック・絵本3冊・ガーゼ・タオル・よだれかけ・乳児用スプーン&フォーク、子育てに関する各種パンフ、文化情報センター利用申込書及びPRチラシ、お祝いメッセージ）を、各字母子保健推進員が『こんにちは赤ちゃん訪問事業：生後4ヶ月までのお子さんがある全戸訪問』の際に、お渡りする。							
平成28年度	委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会評価	－ 目標数値が設定されていないため。							

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 福祉健康課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	子どもが健やかに成長することができる健康づくり
具体的施策	①母体の健康確保に向けた支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：－ K P I：－										
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考				
		数値											
		②	目標事項： K P I：										
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考				
		数値											
	取組内容	事業名	取 組 内 容										
		①妊産婦訪問支援事業	相談業務、妊婦健康診査等の結果、必要と認める者に、保健師・助産師等が訪問指導を行う。H28年度：妊婦（延人員31人）産婦（延人員56人）										
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】										
			担当課評価	①県助産師会へ委託し、助産師と村保健師の訪問を充実させた。 ②母子手帳交付の際に、『県外妊婦健診償還払い』についてお伝えした。 H28年度：申請者4名									
改善(A)		【29年度における取り組みなど】											
		①引き続き、助産師・村保健師の訪問の充実を図る。 ②引き続き、妊婦健診14回分の無料化と県外妊婦健診償還払いのPRを図る。 (妊婦健診委託先追加：沖縄県助産師会『母子未来センター』と委託業務締結)											
委員会意見	【評価等に対する意見】												
	委員会評価	目標数値が設定されていないため。											

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 福祉健康課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	子どもが健やかに成長することができる健康づくり
具体的施策	②子どもの健やかな成長の支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 乳児健診受診率 K P I： 95.00%	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値	91.60% 92.50% 83.70%	
		②	目標事項： 1歳6ヶ月健診受診率 K P I： 95.00%	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値	90.70% 88.70% 82.80%	
		③	目標事項： 3歳児健診受診率 K P I： 95.00%	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値	87.10% 82.10% 81.00%	
	取組内容	事業名	取 組 内 容	
		乳幼児健診の充実	●乳児健診（6回／年） ●1歳半3歳児健診（6回／年同時実施） ●1歳2歳歯科検診（4回／年※村独自事業）	
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】	
担当課評価			・各種健診の案内文に、健診受診の重要性（子供の発達・発育を知る機会）やお得（無料）であることをPRしたり、受診できない場合の連絡をお願いする内容を掲載した。 ・外国人対象者には、受診の際に英語通訳が必要な場合は配置できるようにした。	
改善(A)		【29年度における取り組みなど】 ●村内保育施設等と連携して、健診受診勧奨の協力を行う。		
委員会意見	【評価等に対する意見】			
	委員会評価	C1	全体的に下がっているため要因を分析することが必要である。子どもに感心がないのか、仕事の都合で休みが取れず受けられていないのかなど。子どもの成長にも影響が出るので、より重点的な取組を実施していただきたい。	

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- －： 目標値がないなどの理由により評価できない



平成 28 年度	担当課	福祉健康課
----------	-----	-------

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	すべての子どもと子育て家庭を応援する地域づくり
具体的施策	①子育てを支える環境づくり

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 待機児童数（4月1日時点） K P I： 0人	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値	29人 26人 28人	
		②	目標事項： K P I：	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値		
		③	目標事項： K P I：	
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考	
		数値		
	取組内容	事業名	取 組 内 容	
		保育サービスの充実	●国の保育所等整備交付金を活用した認可保育園の創設（仲泊エンジェル保育園） ●県一括交付金を活用した認可化移行のための施設修繕（風の森保育園）	
	評価(C)	【28年度評価】		
担当課評価		●仲泊エンジェル保育園（H28年12月開園） ●H29年4月開園に向けて、風の森保育園の施設修繕		
平成28年度	改善(A)	【29年度における取り組みなど】		
		●村立保育所（3か所） ●認可保育所（2か所） ●家庭的保育施設（1か所）により、待機児童の減少を図る。		
	委員会意見	【評価等に対する意見】		
	委員会評価	B 認可保育園の創設という部分では評価できるが、待機児童が減少していないためB評価とした。施設が不足しているのか、保育士が不足しているのかなども分析し、子育てしやすい環境整備を実施していただきたい。また、6ヶ月未満の子どもを預けられる施設がないため、乳児園等の整備も検討していただきたい。		

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- －： 目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 福祉健康課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	すべての子どもと子育て家庭を応援する地域づくり
具体的施策	②子育て家庭への経済的支援

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 合計特殊出生率 K P I : 2.10%						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	1.46 (H25)	1.49%	1.69%				
		②	目標事項： K P I :						
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	数値								
取組内容	事業名	取 組 内 容							
	ひとり親家庭等認可外保育施設利用料補助事業	児童扶養手当の支給要件を満たしている保護者、または恩納村母子父子家庭等医療費助成事業の受給資格を満たしている保護者で、保育所申込を行ったが、定員に空きがない等の理由により認可外保育施設を利用している保護者に対し、利用料の負担軽減を行った。(※保護者ではなく、減免相当分の費用として、施設に対して上限内の補助費を支払う)							
平成 28 年度	評価 (C)	【 28 年度評価】							
		担当課評価	H28年度より新規実施だったため、待機児童で要件を満たす保護者3名に直接連絡をとり、該当者2名が申請を行った。						
	A								
改善 (A)	【 29 年度における取り組みなど】								
	●村広報で事業のPRを行う ●ひとり親家庭の保護者が保育所入所申請に来て、待機児童になる可能性があり、認可外保育施設利用を検討する場合は申請を促す。								
委員会意見	評価等に対する意見】								
	委員会評価	ひとり親家庭への支援事業のみで評価しているが、計画については学校教育課や建設課など複数課にまたがる施策が必要であるため、B評価とした。							
B									

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 社会教育課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	すべての子どもと子育て家庭を応援する地域づくり
具体的施策	③地域との協働による児童の健全育成

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 公民館を活用した児童館機能を補完する子どもの居場所づくり事業実施箇所 K P I： 5箇所						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	0	0				
		②	目標事項： K P I：						
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	数値								
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		恩納村子ども会育成連絡協議会への補助金交付	村子連へ補助金を交付することにより、それぞれの地域において、異年齢集団のなかで、団体生活や活動、また自然体験をとおして子どもの持つ個性や能力を引き出し、自主性、協調性、創造性を育み、望ましい人間関係の構築を図る。						
		恩納村勤労体験事業（サバイバルキャンプ）	自然生活体験で自然にふれあうことにより、自然に親しみ、仲間と協力することをとおして社会性を身につけ、生活に必要な基礎的スキルを身につけ、自立を促し健康で心豊かな青少年の健全育成を図る。						
	評価(C)	【 28 年度評価】							
担当課評価		A 集団活動や、自然体験活動を通じて異年齢間の交流が図られ、自主性や協調性の育成の場となっている。ジュニアリーダーの育成も充実しており、中・高校生の積極的な参加が見られ、将来のリーダー育成に重要なプログラムを提供している。							
改善(A)	【 29 年度における取り組みなど】								
	事業内容について、毎年同様の事業内容となっているが、本事業での交流や育成プログラムは他団体、他事業では実施困難である。今後も村子連と連携し事業を展開していく。								
委員会意見	【 評価等に対する意見】								
	委員会評価	C2 目標数値を達成しておらず、また、取組内容についてもこれまで実施してきたことと変わらないものであるため、C2評価とした。目標事項の見直しが必要と考える。ただし、公民館を活用した児童館のモデル事業を実施し、目標事項が妥当であるか検証していただきたい。							

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- ： 目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 学校教育課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	子どもの豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進
具体的施策	①学力向上に向けた支援

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：全国学力調査結果における県での順位目標 K P I：小学校(1位)、中学校(5位)						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	小学校(2位) 中学校(9位)	小学校(1位) 中学校(8位)	小学校(10位) 中学校(5位)	小学校(8位) 中学校(6位)	小学校( )位 中学校( )位	小学校( )位 中学校( )位	
		②	目標事項：中学校統合に向けた教育環境の改善 K P I：-						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	-	-	-				
		事業名		取組内容					
		学力向上推進事業 (地域学習塾支援事業)		夏休み期間に各公民館へ学習支援員(村費)を派遣し、児童生徒の学力の定着を図った。					
		学力向上推進事業(石狩市中学生交流事業)		北海道石狩市の中学生との交流体験で地理・歴史・文化の違いを学習し、人間性豊かな人財の育成を図った。					
		学力向上推進事業 (講演会事業)		教職員及び保護者の資質の向上に資することを目的に著名人を招き、講演会を実施した。					
学力向上推進事業 (県外先進地視察事業)		学習内容の定着の高い県外の小中学校に教職員を派遣し、学力定着に向けた指導方法の工夫改善を図った。							
学力向上推進事業 (学推実践報告会)		学力向上推進の取り組みの成果と課題を学校・家庭・地域の立場から検証し、学力向上の定着を図った。							
学力向上推進事業 (諸検定料支援事業)		全国規模で実施されている漢字検定、英語検定、数学検定等を希望する児童生徒に半額補助し、学力の意識化と定着を図った。							
学力向上推進事業 (未来塾事業)		高校受験を控えた中学3年生を対象に、学習への不安及び課題の解消を図った。							
学力向上推進事業(スキルアップ研修事業)		各学年に教科担任1名という課題を解消するため村内5校の教職員が互いの資質・能力を高めるため実施した。							
学力向上推進事業 (各種コンクール事業)		各種コンクール事業を開催し、児童生徒へ発表の機会を与え、学力向上を図った。							

平成 28 年度	評価 (C)	【 28 年度評価】	
		担当課 評価	○学力向上推進の各事業での評価は、教育委員会で行われている事務事業の点検及び評価報告書での評価とし、当初KPIにおいての順位は、平成30年度より中頭地区での公表がないため沖縄県平均正答率への変更を行う。 ○課題：中学校の学習の定着へ向けて授業の工夫改善等に取り組むことや次期学習指導要領実施に向けた情報の収集を行う。 ○KPI：小学校(県平均正答率以内)、中学生(県平均正答率△1%以内)
	改善 (A)	【 29 年度における取り組みなど】	
		学校教育に関する課題解決を図るため各種事業の取り組みを充実させ、学校・地域・家庭の連携の充実を図る。	
委員会 意見	【 評価等に対する意見】		
	委員会 評価	取組内容として様々な事業を行っているが、小学校の順位が下落していることを踏まえB評価とした。英語教育などの成果に期待したい。	
		B	

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 学校教育課

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	子どもの豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進
具体的施策	②地域の特色を活かした学校づくり

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：英語教育特区の指定 K P I：全小学校(5校)での英語教育特区の指定						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	1校	1校	5校				
		②	目標事項：沖縄科学技術大学院大学との連携による理科教育の充実 K P I：中1(週3時間→週4時間) 中2～中3(週4時間→週5時間)						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	中1：3時間 中2・3：週4時間	中1：3時間 中2・3：週4時間	中1：3時間 中2・3：週4時間				
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
担当課評価			○英語教育特区の指定においては、各小学校で実施されたが、次期学習指導要領において低学年への英語教育が導入されるため平成30年度には、英語教育特区の指定を解除し、新学習指導要領に沿った英語活動を実施する。 ○OISTとの理科教育に向けての充実は、平成32年4月開講予定の新中学校(統合)に向けて協議中である。						
改善(A)		【29年度における取り組みなど】							
		OISTとの協議の充実を図り、平成30年度より部会(教育課程部会)を立ち上げ教育課程の編成を行い、新中学校開校に向けて特色を生かした学校づくりを推進する。							
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	①のKPIが達成しているためA2評価とした。英語検定の合格率などの目標の追加設定を検討していただきたい。							

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている(前進)
- B：現況値と比較して変わらない(横ばい)
- C：現況値と比較して悪くなっている(後退)
- ：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等(その他)

【委員会評価】

- A1：目標達成済み(更なる向上を)
- A2：現状維持(計画どおり)
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- ：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	企画課
----------	-----	-----

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	子どもの豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進
具体的施策	②地域の特色を活かした学校づくり

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：英語教育特区の指定 K P I：5小学校							
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	1小学校	1小学校	5小学校					
		②	目標事項：沖縄科学技術大学院大学との連携による理科教育の充実 K P I：〇中1週4時間 〇中2～中3週5時間							
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値	中1：3時間 中2・3：週4時間	中1：3時間 中2・3：週4時間	中1：3時間 中2・3：週4時間					
		③	目標事項： K P I：							
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
		数値								
		取組内容	事業名	取 組 内 容						
			恩納村・OIST こどもかがく教室	夏休みを利用して、「こどもかがく教室」を実施。 科学への興味促進を図る。						
		平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
担当課評価	平成28年度、159名の希望者に対し110名の児童生徒が参加。									
B										
改善(A)	【29年度における取り組みなど】									
	平成29年度、148名の希望者に対し113名の児童生徒が参加。									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価	①の目標値達成、取組内容や参加人数を鑑み、A2評価とした。								
A2										

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
基本方針	高校・大学等への進学・就学支援
具体的施策	①高校、大学等への進学・就学支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 高校進学率 K P I： 100%								
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考		
		数値	98.0%	95.1%	95.5%						
		②	目標事項： K P I：								
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考		
		数値									
取組内容	事業名	取 組 内 容									
	学力向上推進事業 (未来塾事業)	高校受験を控えた中学3年生を対象に、学習への不安及び課題の解消を図った。									
平成28年度	評価(C)	【28年度評価】									
		担当課評価	○高校等への通学費に対する経済的支援においては、恩納村総合教育会議ので継続協議中で実施年度及び制度研究を平成32年度までに完了する。 ○一部給付型奨学金においては、恩納村総合教育会議の中で、高校・各種専門学校・大学等への進学を希望する学生を対象に給付型の制度を協議中で、平成32年度までに実施できるよう協議する。 B ○課題：高校受験に対し、例年、就職希望者が2名前後いるため、小学校低学年からの授業での躓きを理由に進学をあきらめないよう学力の定着を図る必要がある。								
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】 学力向上及びキャリア教育の充実を図り、将来への目標設定につなげていく施策を実施する。 (キャリア教育関連の授業を計画実施)									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価	B 分母が小さいため1、2名でも進学しない場合は95%程度となってしまう。親の影響(考え方)によるものなのか、家庭環境や資金力によるものなのか、分析が必要である。									

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- ： 目標値がないなどの理由により評価できない



平成 28 年度

担当課 総務課

基本目標	住民主体のむらづくりを行い地域と地域が連携する
基本方針	誰もが安心して生活し続けられる環境づくり
具体的施策	①自主的な地域づくりの推進

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：自治会加入世帯率 K P I：50.0%						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	48.6%	48.4%	47.5%				
		②	目標事項： K P I：						
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	数値								
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		恩納村防犯灯修繕・設置事業	犯罪の発生を抑止し、安心・安全に大きな効果が期待できる防犯灯を整備し、夜間の防犯・交通安全対策の推進を図ることを目的として、毎年、各自治会（16自治会）の要望を取り纏め、防犯灯の修繕又は設置（16基）を実施している。						
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
			担当課評価	人口は、増加傾向にあるが、自治会加入率が減少傾向にある。OISTの教授や学生、リゾートホテルの社員等が人口増加の理由と考えられるが、外国人及び村外の方々は、ほとんど自治会に加入しないため、加入率の増加に繋がっていない。					
C									
改善(A)	【29年度における取り組みなど】								
	平成29年度恩納村安全対策防犯カメラ及び防犯灯整備工事（平成29年度沖縄安全対策事業【内閣府】） 平成29年度のみ緊急特別対策事業（国庫）を活用し、村内に防犯カメラ及び防犯灯を整備し、村民の更なる安心・安全を確保する。								
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	KPIが達成できない要因は理解できるが、住環境の整備という観点から、自治会加入率では判断が難しい。具体的な取組みが見えず、総務課だけの施策ではない。							
C2									

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	福祉健康課
----------	-----	-------

基本目標	住民主体のむらづくりを行い地域と地域が連携する
基本方針	誰もが安心して生活し続けられる環境づくり
具体的施策	②健康づくりへの支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 特定健康診査受診率 K P I： 50.0%						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	42.6%	41.1%	43.1%				
		②	目標事項： K P I：						
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	数値								
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		未受診者対策事業	村広報誌（3回）、パンフレット（健診日程・内容等）、チラシ（国保保険証切替時）の配布、未受診者台帳の作成、戸別訪問、電話連絡による受診勧奨、前年度受診者へのハガキによる通知案内。						
		心電図検査実施事業	特定健康診査の検査項目へ心電図検査を追加（検査料金は無料。特定健診審査の内容の充実を図るとともに、心源性脳梗塞の原因となる心房細動を早期に発見し、治療に繋げる事で要介護状態への進展を予防する）						
	平成 28 年度	評価(C)	【 28 年度評価】						
担当課評価			対象者数2,276名、受診者数982名で受診率43.1%と前年比2%の上昇となった（H29年度法定報告）。村目標値の50%は達成できていないため今後も取り組みを強化して必要がある。						
A									
改善(A)	【 29 年度における取り組みなど】								
	健康診査・がん検診受診料の無料化、マイペース健診定員数の増加、マイペース健診契約医療機関の増加、未受診者対策担当職員の配置								
	【 評価等に対する意見】								
委員会意見	委員会評価	KPIは上昇しているが、まだまだ達成できる状況ではないためB評価とした。H29年度の無料化の結果を受けて、再度評価したい。							
	B								

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- ： 目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	福祉健康課
----------	-----	-------

基本目標	住民主体のむらづくりを行い地域と地域が連携する
基本方針	誰もが安心して生活し続けられる環境づくり
具体的施策	③地域福祉の推進

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項：要介護認定率 K P I：20.00%						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	22.90%	22.29%	19.61%				
		②	目標事項： K P I：						
		現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	数値								
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
		総合事業の実施	総合事業を実施することにより、要介護認定を受けずに、チェックリストを実施することにより、総合事業対象者として訪問介護や通所介護等サービスを受けることができることになったため、認定率が低下した。						
	平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
			担当課評価	要介護認定率がH28年に低下したのは、要介護認定を受けずに、チェックリストを実施し、総合事業対象者として訪問介護や通所介護等サービスを受けることができるようになったため。しかし、現実的には、介護保険サービスを利用する高齢者は大きく下がってはいません。					
改善(A)		【29年度における取り組みなど】							
		引き続き介護サービスが必要な住民に対し、適宜要介護認定またはチェックリストを実施し、適切なサービスを提供する。							
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	要介護認定率で判断するのは難しいが、数値としては横ばいなのでB評価とした。							

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度	担当課	総務課
----------	-----	-----

基本目標	住民主体のむらづくりを行い地域と地域が連携する
基本方針	誰もが安心して生活し続けられる環境づくり
具体的施策	④地域の防災活動への支援

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 自主防災組織の組織数 16自治会（希望ヶ丘を含む） K P I： 9自治会						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	9	9	9				
		②	目標事項： 防災備蓄倉庫の設置数 K P I： 5箇所						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	2	2	5				
		③	目標事項： 避難誘導標識等の設置 K P I： 155箇所						
			現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		数値	0	0	144				
	取組内容	事業名	取 組 内 容						
総合防災訓練の実施		恩納村、自治会、警察署等と連携した防災訓練							
平成28年度	評価(C)	【28年度評価】							
		担当課評価	防災倉庫設置は目標値を達成したが、資機材の使用方法等については訓練が必要である。 A						
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】 総合防災訓練を実施し資機材等の使用方法を確認した							
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価	②③についてはほぼ達成しているが、①については横ばいなのでB評価とした。防災訓練などのソフト面の取組を充実していただきたい。 B							

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- －： 目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 商工観光課

基本目標	住民主体のむらづくりを行い地域と地域が連携する
基本方針	広域等との連携の推進
具体的施策	①広域連携の推進

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 共同事業数 K P I： 4事業	現況値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		②	目標事項： K P I：	2事業	3事業	4事業				
		③	目標事項： K P I：							
		④	目標事項： K P I：							
		⑤	目標事項： K P I：							
		⑥	目標事項： K P I：							
		⑦	目標事項： K P I：							
		⑧	目標事項： K P I：							
		⑨	目標事項： K P I：							
		⑩	目標事項： K P I：							
		⑪	目標事項： K P I：							
		取組内容	事業名	取 組 内 容						
美ら島沖縄センチュリーラン	北部地域及び近隣市町村との連携による観光振興：恩納村をスタート・ゴールに名護市、うるま市、今帰仁村、本部町、宜野座村、金武町、読谷村、嘉手納町を駆け抜けるサイクリングイベント。									
女子硬式野球沖縄大会兼軟式野球交流大会	北部地域及び近隣市町村との連携による観光振興：恩納村、宜野座村の野球場で行われる女子硬式野球沖縄大会。スポーツブランド・DESCENTが特別協賛している。									
YONNAリゾートウェディング協議会（平成28年1月発足）	ふるさと名物応援事業の実施：名護市、恩納村、読谷村の選りすぐりの地域産業資源を活用して、沖縄リゾートウェディングを支援していく。協議会メンバーは3市村、沖縄県リゾートウェディング協会。オブザーバー参加で、内閣府沖縄総合事務局経済産業部、沖縄県文化観光スポーツ部。									
平成27年度やんばる観光連携推進事業	北部地域及び近隣市町村との連携による観光振興：金武町、宜野座村、恩納村の3町村が連携し、スポーツ合宿・大会運営等を強力にバックアップする									
2016台北国際旅展	北部地域及び近隣自治体との連携による観光振興：財団法人台湾観光協会主催による旅展の沖縄観光コンベンションビューローブースで金武町、宜野座村、恩納村で連携し、プロモーションを行った。									
愛々（かながな）ウェディング	ふるさと名物応援事業の実施：恩納村の地域産業資源を活用して、独自のリゾートウェディング商品を開発し、恩納村観光協会で販売している。									

平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】
		担当課 評価  A
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】
		平成28年度までに北部や近隣市町村で連携して事業を実施することの基盤を築くことができた。平成29年度は更に連携を密にし、広域等との連携を推進していく。平成29年4月より商工観光係から商工係と観光係に分かれたことにより、より事業内容の充実を図ることができると思われる。
	委員会 意見	【評価等に対する意見】
		委員会 評価  A2

【担当課評価】

- A：現況値と比較して良くなっている（前進）
- B：現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C：現況値と比較して悪くなっている（後退）
- －：統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1：目標達成済み（更なる向上を）
- A2：現状維持（計画どおり）
- B：要改善
- C1：抜本的な見直し
- C2：目標の見直し
- －：目標値がないなどの理由により評価できない

平成 28 年度

担当課 農林水産課

基本目標	住民主体のむらづくりを行い地域と地域が連携する
基本方針	広域等との連携の推進
具体的施策	②友好都市・姉妹都市等との連携

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①	目標事項： 恩納村におけるレタス収穫面積 K P I： 3,000坪
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考
		数値	0坪 0坪 1,610坪
		②	目標事項： 恩納村でレタス生産を始める農家数 K P I： 5農家
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考
		数値	0農家 0農家 16農家
		③	目標事項： K P I：
			現況値(H26) H27 H28 H29 H30 H31 備考
		数値	
	取組内容	事業名	取 組 内 容
シンカプロジェクト		友好姉妹村である長野県川上村よりレタスや他品目の栽培技術提供を受け、村内農家へ栽培を推進する。栽培されたレタスを村内ホテルや村内飲食店に出荷し地産地消の推進を目指していく。	
平成 28 年度	評価 (C)	【 28 年度評価】	
		担当課 評価	レタス研究会を立ち上げ、16名の農家が1,610坪の面積でレタスを栽培することができ、おんなの駅へ出荷して村内ホテルや村内飲食店に供給することができた。試験圃場でレタス以外の品目（白菜、ロメインレタス、サニーレタス、リーフレタス、ブロッコリー、カリフラワー）も栽培できた。米軍施設の子供達に農業体験交流を行った。コープおきなわでイベントがあり、恩納村産レタスをPRすることができた。現況値から比較すると前進している。
	改善 (A)	【 29 年度における取り組みなど】 引き続きレタスや他品目の試験栽培に取り組み、農家への技術指導を行いレタスの品質向上を目指す。栽培計画を見直し安定供給を目指し販路の拡大や販促への支援に取り組む。村内の子供達と米軍施設の子供達に農業体験交流を行っていく。	
委員会意見	【 評価等に対する意見】		
	委員会 評価	A2	プロジェクトに取り組んだことにより、大きな効果が見られる。更なる向上を目指していただきたい。

【担当課評価】

- A： 現況値と比較して良くなっている（前進）
- B： 現況値と比較して変わらない（横ばい）
- C： 現況値と比較して悪くなっている（後退）
- ： 統計年度未到来などの理由により指標の状況が確認できない等（その他）

【委員会評価】

- A1： 目標達成済み（更なる向上を）
- A2： 現状維持（計画どおり）
- B： 要改善
- C1： 抜本的な見直し
- C2： 目標の見直し
- ： 目標値がないなどの理由により評価できない